

令和7年度社会福祉法人葵寮事業報告

1 法人運営状況について

降令和7年度の救護施設の利用状況は、83名以上を維持しており計画を上回った。

中長期計画の進捗について、利用者が施設に入所しながらも地域生活に近い現代的な生活が営めるように施設生活の幅を広げる方針としているが、今年度は（可能な方は）スマートフォンの所持を許可するとともに無料Wi-Fiの設置を進めた。その結果、スマートフォンの利用が広がっており、現在1割近くの利用者が所持している。若年世代については入所の動機となり、既存利用者については活動の幅を広げることができるようになってきている。今後は生活や活動のツールとしての使用方法を検討したい。その他、近隣の図書館までの散歩の自由化なども行った。

費用削減のためのソーラーパネルについては、5月中旬の稼働以来、年間実績を以下に提示する。金額、使用量の削減は前年比-25%程度を期待していたが、金額については4%程度期待を下回った。

ソーラー発電効果：

前年比（5-4月） 電気代：-1,020,642（-20.65%） 使用量：-48,335（-24.23%）

詳細は別紙

資金運用面では、長期金利の急上昇により、保有中の20・30年債の価格が7,000千万円ほど下落しており厳しい運用状況となっている。短期国債については、昨年度より満期保有目的で積極的に購入する方針としており、今後も継続予定である。株高の影響を受けて、ファンドラップは年間で15%以上上昇している。

1 会議

理事会：

2025/6/2

令和6年度事業報告、令和6年度資金運用報告、令和6年度社会福祉法人葵寮決算、令和3年度-令和7年度社会福祉充実計画の中止、令和7年度-令和16年度社会福祉充実計画の承認、令和7年度資金運用計画の変更、令和7年度施設整備積立金及び人件費積立金の取崩の変更、職員給与規程の一部改正、令和7年度補正予算案、令和8年度給食業務委託業者選定、理事（候補者）の選出、監事（候補者）の選出、評議員（候補）の選出、令和6年度社会福祉法人葵寮評議員会（第1回）の開催、評議員選任・解任委員会の開催

2025/6/24

理事長の選任、業務執行理事の選任

2025/10/27

令和7年度 補正予算案、令和7年度資金運用計画の変更（国債の購入）、令和8年度給食業務委託の業者確定、理事候補者の選任、評議員候補者の選任、評議員選任解任委員会の開催、令和7年度社会福祉法人葵寮評議員会の開催

2026/3/17

令和7年度 補正予算案、令和7年度 施設整備積立金及び人件費積立金の取崩の変更、令和7年

度 資金運用計画の変更（及び現状報告）、令和8年度 事業計画案、令和8年度 予算案、令和8年度 施設整備積立金及び人件費積立金の取崩、令和8年度 資金運用計画、令和8年度 給食業務委託契約、職員給与規程の一部改正、経理規程の一部改正、苦情解決第三者委員の選任、施設長の選任、令和7年度 社会福祉法人葵寮評議員会（第3回）の開催

評議員会：

2025/6/24

令和6年度決算、令和3年度-令和7年度 社会福祉充実計画の中止、令和7年度-令和16年度 社会福祉充実計画の承認、令和7年度 補正予算案、令和7年度 施設整備積立金及び人件費積立金の取崩の変更、理事（候補者：近藤 操）の選任、理事（候補者：片井 寛）の選任、理事（候補者：井戸 一美）の選任、理事（候補者：井上 彰作）の選任、理事（候補者：岡田 貞夫）の選任、理事（候補者：斯波 幹和）の選任、理事（候補者：松田 康太郎）の選任、監事（候補者：梅原 久義）の選任、監事（候補者：市川 賢二）の選任

2025/11/4

令和7年度 補正予算案、理事の選任

2026/3/25

令和7年度 補正予算案、令和7年度 施設整備積立金及び人件費積立金の取崩の変更、令和8年度 事業計画案、令和8年度 予算案、令和8年度 施設整備積立金及び人件費積立金の取崩

2 監事監査

第1回 2025/5/16 監査対象期間：令和6年12月～令和7年3月及び令和6年度決算

第2回 2025/9/24 監査対象期間：4月～7月

第3回 2025/1/23 監査対象期間：8月～11月

3 苦情解決第三者委員会

第1回 令和7年4月 葵 寮：79

清流荘：3

第2回 令和7年10月 葵 寮：135

清流荘：6

4 社会福祉充実計画

令和7年度実施案件

No	計画・件名	実施月	支出額	課目
1	松富あおいの家改修(白アリ駆除)	7	275,000	その施設整備
2	食堂冷水器導入	9	999,900	器具及び備品取得支出
3	利用者用ベッド買替	11	753,220	消耗器具備品費
4	松富あおいの家改修(外壁塗装)	9	1,650,000	その施設整備
5	ポータブル電源	5	268,180	器具及び備品取得支出
6	人員増強(看護師)	通年	4,440,000	人件費積立金取崩
7	給食価格高騰対応	通年	10,000,000	業務委託費支出
8	職員報奨金	3	3,500,000	人件費
	合計		21,886,300	

計画達成状況	実施期間	使用額	累計使用額
	R7-R16	21,886,300	21,886,300

5 地域における公益的な取り組み

令和7年度の状況

実施内容：福祉相談事業（電話での福祉相談） 件数：0

レクリエーション等地域共有事業 件数：2

2 救護施設運営状況について

葵寮は、生活保護法第38条の規定に基づき、身体上又は精神上著しい障害があるために日常生活を営むことが困難な要保護者を福祉事務所の措置により入所させて、生活扶助を行うことを目的とする救護施設であるが、近年は、セーフティーネットとしての機能を果たすべく、障害者だけでなく、ホームレス、DV被害者、触法者など地域において生活することが困難な者なども幅広く受け入れをしている。

また、利用者の自立の助長を図るため、利用者個人の意向をできる限り尊重し、健康で安全な生活ができるよう支援を行っている。

令和7年度の実施状況は次のとおりである。

1 利用者の状況 R8.3.31 現在

(1) 保護実施機関別利用者数 (人)

	袋井市	島田市	藤枝市	三島市	焼津市	静岡市			富士市	富士宮市	沼津市	御殿場市	伊豆市	伊東市	県賀茂	伊豆大島(東京)	計
						葵区	駿河区	清水区									
男	0	6	2	2	4	14	5	5	0	1	3	0	1	1	1	0	45
女	1	5	1	1	1	13	7	2	1	1	1	1	1	0	0	1	37
計	1	11	3	3	5	27	12	7	1	2	4	1	2	1	1	1	82

(2) 年齢別構成 (人)

	40才未満	40～49	50～59	60～69	70～79	80～才	計人
男	1	4	14	14	11	1	45
女	2	2	5	10	16	2	37
計	3	6	19	24	27	3	82

平均年齢64.0才 (男 62.4 女 66.0)

最高 男86才 女84才 最低 男24才 女33才

(3) 入所期間別構成 (人)

	5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	計 人
男	20	12	7	1	5	45
女	6	10	11	1	9	37
計	26	22	18	2	14	82

平均入所期間 11年1ヶ月 最長入所期間 59年10ヶ月

(4) 障害別構成 (人)

	知的障害	精神障害	身体障害	精神障害	知的障害	精神障害	身体障害	知的障害	身体障害	知的障害	障害精神障害	身体障害	知的障害	計 人
男	4	34	1	3	1	0	0	0	0	0	0	2	45	
女	7	16	1	10	1	1	0	0	0	0	0	1	37	
計	11	50	2	13	2	1	0	0	0	0	0	3	82	

(5) 月別利用状況 (1日付) ※ () は1日付入所

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計人
初日在所要者数	84	82	84	84	(85)	83	(84)	83	82	84	83	83	平均 83.4
入 所	1	3			(1)	1	(1)		2		1		10
退 所	入 院												
	他施設	1				2	1	1				1	6
	社会復帰												
	無断退所	1											1
	死 亡	1	1						1		1	1	5

(6) 一時入所施設入所の体験利用として一時入所の受け入れを行った。

利用者 2名 2回 延利用日数 29日

2 処遇の状況

(1) 集団支援

集団生活を送るため、起床から就寝まで最小限度の日課を定め、生活に必要な当番、作業、レクリエーション、リハビリ等の活動メニューを用意して、各人が生活意欲をもって過ごせるよう支援した。

(2) 個別支援

利用者ごとに希望要望を取り入れた支援計画を作成し支援を実施している。状況の変化に対応するためモニタリングを行い、常に利用者の立場に立った支援に心掛けた。

(3) 就労自立支援

障害の程度や利用者の特性に合わせて複数の作業から選択して内職作業を行った。

外勤に向けてのハローワーク、障害者職業センター等を利用する支援はできなかった。

(4) 地域移行支援

施設において自立に向けた訓練を行うとともに、訓練用住居にて、より居宅生活に近い環境で実体験的に生活訓練を行うことにより地域への移行を支援した。令和7年度は2名が参加し、2名グループホームに移行した。

(5) 地域生活定着支援

地域へ移行した利用者に対しては、居住先を定期的に訪問し必要なフォローを行うことで地域生活が定着するよう支援した。

(6) 食事・栄養サービス

個々の身体的状況に応じた食事内容、病状に対応した食事内容の提供を実施した。

食事とおとして正しい食習慣を身につけ生活習慣病の予防に努めた。

食事は嗜好を配慮し、季節を感じる行事食を取り入れた。

食事とおした楽しみとして定期的に自己選択できる選択食を実施した。

(7) 健康管理

集団生活をするうえで特に留意する必要がある感染性の疾患については、予防衛生に重点を置き、また年2回の定期健康診断のほか、嘱託医あるいは専門医による検診を随時行い、疾病の早期発見、早期治療に努めた。

(8) 環境衛生支援

明るく清潔で、静かな生活の場を提供し、衣服、寝具等も常に清潔を保ち、健康の保持と感染症の予防に努め、快適な環境づくりを進めた。

(9) 家族交流支援

両親、兄弟など家族のある者については、家族との連携を深めるため、利用者の日常動作、健康状態、近況、総合意見等生活状況を6月毎に報告した。家族からの希望により、面会、外出、外泊を行った。

(10) 健康維持・衛生支援

日常活動の行事とし実施している、毎日のラジオ体操と、日に2回の散歩を体力別に3グループに分けて行った。また、運動療法を外部専門家により実施し、心身の健康増進に努めた。入浴は毎週3回行い、希望者はユニットバスを利用し、個別入浴を行うことにより自立を促した。

(11) 教養娯楽活動

情操を豊かにし、運動不足の解消を図るため、施設内で毎週定期的にクラブ活動を行い、ダンスステップやヨガを体験した。また、住職による説法や写経、年数回の選択レクリエーション、カラオケ等を通じて心にゆとりのある生活ができるよう、教養娯楽の機会を設けた。

(12) 施設機能の開放

施設の設備・機能の開放や、地域住民や学校等との交流を随時行った。
実習生の受け入れなし。

(13) 金銭管理

金銭及び貴重品は、1Fダイルームにある個人金庫にて管理をし、自己管理が可能な方は自分用の鍵を持ち、自己管理が難しい方は職員の方でまとめて管理を行った。出来る方に関しては、自分で外出し銀行にて自分で入出金を行った。

(14) 喫煙

喫煙は決められた時間・場所でマナーを守って行った。

(15) 外出・外泊支援

個人で出かける自由外出、職員が引率するグループ外出、担当職員と出かける担当外出と、本人の状況に応じて種類を分け実施した。近距離で購入できない必要物品に関しては職員が同行して購入した。家族との外出、外泊に関しても希望に沿って随時行った。

(16) 通院・デイケア

定期通院は職員付き添いのもと行った。デイケアは現在も2名が参加している。

3 その他

(1) 防災訓練の実施

① 総合防火訓練

年2回、施設内出火の想定で、自衛訓練を実施。避難誘導訓練のほか機材等の点検整備を行った。(4月・11月) また、職員の手薄な夜間にも対応できるよう夜間訓練を行った。(7月)

② 総合防災訓練

簡易トイレ確認、非常食・非常袋・医薬品・発電機作動の確認を行った。(9月・3月)

③ 水防訓練

洪水時の避難確保計画に基づき、利用者の避難誘導訓練を行った。(6月)

④ BCP訓練

災害時に向けた職員の動線や利用者処遇面と環境整備などのシミュレーションを行った。

(3月)

(2) 利用者との対話会等

- ・ 利用者の要望、意見を支援に反映させるため、毎月面接相談を実施した。
- ・ 利用者全体での対話会を年2回実施した。（※苦情解決第三者委員出席）

(3) 職員研修

- ・ 職員の資質向上を図るため、施設内研修を実施するとともに、外部で実施される研修会にも可能な限り参加した。
- ・ 施設内研修
 新任研修 消毒剤について 他、外部研修会を受けての内部研修会
- ・ 外部開催研修参加 8回（リモート会議含む） 延べ参加者13人

(4) 慰問・奉仕等の状況

実施時期	慰問者等の住所氏名	慰問等の内容
6/7	静岡英和女学院中学校・高等学校	歌
12/4	静岡英和女学院中学校・高等学校	クリスマス訪問・歌
12/11	雙葉学園高等学校・中学校	クリスマス訪問・歌

(5) 物品寄贈

時期	寄贈者等の氏名	寄贈等の内容
5/25	富士市 山本 様	トイレトペーパー ティッシュペーパー
6/7	静岡英和女学院中学校・高等学校	生花
6/24	理事長 斯波幹和 様	アケリアス
12/4	静岡英和女学院中学校・高等学校	寄付金 クリスマスカード
12/11	静岡雙葉中学校・高等学校	寄付金 ウエス・雑巾・タオル

4 令和7年度 事業報告書 附属明細書

該当事項なし